

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年11月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600214
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県阿久根市脇本 6778-39 (電話) 0996 75-1122
自己評価作成日	令和 元年 10月 10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年11月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご家族が、いつでも訪問できる体制づくり、雰囲気大切にしています。入居者のペースに合わせた介護。地域との結びつきを大切に、行きたい美容院やへもお連れします。墓参りや、買い物へ一緒に行く等のお手伝いも行います。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自治会に加入し、海岸清掃やホーム前の県道のゴミ拾いを行ったり、集落で行われる鬼火焚きに参加している。また、風除室にお裾わけの野菜が置かれていることがあり、食材として調理に利用させてもらっている。中学校の運動会に参加したり、職場体験を受け入れるなど、教育機関とも積極的に交流している。

身体拘束をしないケアの実現に向け、身体拘束廃止委員会を設置し毎月話し合いを行い、職員会議で内容を報告することで情報を共有している。利用者の行動を制限させることのないよう、日常的に見守りを徹底しており、出かける際は職員が付き添っている。声かけについても、動作を抑制させることのないよう、丁寧に理由を説明しながら支援につなげている。

重度化や看取り支援については、入居時に重度化や看取りに関する指針を説明し同意を得ており、入居後も本人・家族の思いの変化や事業所の状況の変化を確認できるよう、改めて説明を行うなど繰り返し確認を取っている。過去に看取りを行った経験があり、今後も可能な限り支援したいと考えていることから、内部研修を実施したり、法人全体でも計画的に研修を組み込み、知識や技術向上を図っている。

ホームは海岸に面した立地のため津波災害を警戒しており、入職時に避難経路を説明することはもちろんのこと、自主訓練として避難経路の確認を繰り返し行っている。また、火災時にはホーム全体を消火できる能力を持つ、パッケージ型消火設備を備えるなど万一の災害に対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼で唱和し、ケアに努めている。	職員会議で理念が現状に即しているかを話し合ったり、各委員会による年度目標の設定や半年毎にホームの目標も設定している。日頃より管理者は、丁寧な支援を心掛けるよう職員に伝え実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	集落の行事、職場体験、グランドゴルフへも出かける。	自治会に加入し、集落の鬼火焚きに参加したり、海岸清掃やホーム前の県道清掃等を自主的に行っている。また、中学生による職場体験の受け入れや散歩途中に地域住民と挨拶を交わすなど地域との付き合いを大切に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	民生委員や区長を通じての相談あり。中学生や看護学生の受け入れを行い、認知症を理解して頂けるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告の他に、自治会等の要望に協力している。活発な意見等出し合い、サービス向上に努めている。	会議には家族や自治会長、民生委員、行政職員等が参加しており、状況に応じて利用者にも参加してもらい意見を聞いている。また、会議では、活動内容や利用者状況、ヒヤリハットの説明のほか、管理者が認知症についての講話を行うなど、認知症やホームの理解につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より、様々な相談をお願いしている。運営推進会議へも必ず出席頂いている。	行政へは介護保険関係の書類提出や利用者に関する諸手続き等の際に出向いたり、日常的に電話で相談することも多い。また、包括支援センターからの問い合わせを受けたり、行政主催の研修会に参加するなど、行政とは密に連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り強化の必要性和、認知症学習会を行っている。離設入居者へは一緒に歩くようにしている。	身体拘束廃止委員会を設け毎月話し合いを行うほか、外部研修にも参加し、毎月の職員会議で情報を共有している。利用者が外出しそうな様子を察知した時は、見守りや声かけを行うと共に、出かける場合は、職員も携帯電話を所持して付き添っている。また、言葉による拘束については、可能な限り丁寧な言葉に置き換えて伝えるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会を行うと共に、日々の身体異常を早期発見できるよう周知している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等での資料を閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>多くの時間を頂き、納得のいく説明を行うよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の面会時にも、気軽に声を掛けて頂けるような雰囲気作りを行っている。</p>	<p>年1回家族会を開催しているが、遠方の家族も多く参加者が少ないため、こまめに電話で意見を聞いたり、面会に訪れた際には、管理者が直接話をするようにしている。また、年に4回程度ホーム便りを発行し家族に送付することで、意見や感想を伺う機会にもつながっている。把握した情報は連絡帳に自由に記入し職員間で共有している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>朝礼等での意見交換、部署会議を通じての意見交換を行っている。</p>	<p>朝夕の申し送り時や職員会議で意見を求めるほか、日頃から意見を聞く機会が多い。また、年1回経営者による個別面談を実施し「職員個人評価シート」を確認している。働きやすい環境に近づけられるよう、休日の取得や研修への参加、資格取得についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>年一回の社長面談ある。職員の相談へはその都度行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の学習会や外部研修等の機会を設け、質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の施設交流を行い、意見交換を行っている。行政での取り組みもあり、不定期での市全体での意見交換の場もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人に寄り添い、会話を多く持つことで、本人の気持ちを引き出すよう努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族とは2時間以上の時間を頂き、可能な限り、詳しく気持ちを引き出すよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人の生活状況を細かく聞き出し、何が必要なのか見極めて対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	調理や洗濯物等、一緒に出来る事を探し、行い、寄り添う時間を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への、はまゆう便り郵送や、行事等への参加促し、家族との外出も積極的に応援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや墓参り、散髪等、地域の方と触れ合えるよう支援している。	これまでの馴染みの関係が継続できるよう、電話や手紙の取り次ぎのほか、美容室や個別に希望する商店まで買い物に出かけられるよう、家族と職員が協力し合い支援につなげている。また、寝たきりの方でもリフト車で希望の場所に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性の把握に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等あれば、対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族の要望に応えられるよう努力している。食事の好みや入浴等。	入居前に本人や家族と面談したり、関係者から話を聞き、入居後も表情や仕草、言動から思いを汲み取ると共に、家族からは変化する思いを随時聞き取るようにしている。把握した内容は連絡帳に記入し、申し送り時等に共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活環境を一変してしまわないよう努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事や排泄まで、すべてに於いてチェックしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者はモニタリングを行い、その都度、家族への相談を行っている。	本人、家族の思いや意見を基に、担当職員やケアプランチェック表、主治医等の意見を参考にしながら介護計画を作成している。サービス内容については、身体状況の変化時以外でもこまめに見直しており、その都度、削除したり追加することで、現状に即した介護計画としている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>サービス内容が分かりやすい記録を指導している。職員全員で情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の要望に応じて対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事等への参加。近隣のドライブ等行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望の病院への受診を手伝っている。</p>	<p>個々に希望するかかりつけ医を受診することができ、協力医療機関による訪問診療を受けている利用者もいる。家族が受診を支援する際は、普段の様子がわかるよう、職員が事前に主治医に情報提供をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	10/11現在、NS不在であり、管理者を中心にかかりつけ医との報連相を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	連携室やかかりつけ医と情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族との話し合いで、希望に沿った対応を行っている。	「重度化に関する指針」「看取りに関する指針」を作成し、入居時に説明し同意を得ると共に、入居後も変化する思いを再度確認するため、状態に変化がみられた時等に改めて説明し確認している。これまでに看取りを行った経験があり、これからもできる限り対応したいとの思いから、繰り返し研修を重ね、知識や技術の向上を図っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応についての学習会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防署を交えての避難訓練、不定期のはまゆう避難訓練も行っている。</p>	<p>年2回消防署立ち会いの下での火災訓練を、区長にも参加してもらい実施したほか、夜間想定や津波災害時の避難経路の確認等、自主訓練も実施している。すぐ近くが海岸のため津波を考慮して、入職時には必ず避難経路を確認している。また、ホームにはスプリンクラーのほか、パッケージ型消火設備を設置している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇についての学習会等行っている。入居者の生活リズムを尊重している。	接遇やプライバシーに関する研修を法人全体で実施しており、声のかけ方や接し方についてを繰り返し確認している。特に羞恥心に関することについては「優しい介護」を提供したいとの思いから、意識して取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重するよう努めている。会話を多く持ち希望等を引き出すよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの入居者に合わせた対応を行っている。一番風呂に入りたい方等も対応する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪希望時は送迎介助行う。服を自力で選ぶ方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いや食事制限の方もおり、別メニューを提供している。野菜の下ごしらえも一緒に行う。	誕生日会の日に食べたい物を提供したり、刺身も定期的にメニューに加えている。ホームの畑で収穫した野菜を食材として利用したり、餅つきや芋煮会、ちまき作り等を楽しんでいる。また、職員も同じメニューを会話を楽しみながら一緒に食べている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分はチェック表で管理し、水分が少ない方へは、小まめな声掛け行う。毎月の体重測定行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、同行し確認・介助行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツで入居した方を、何名か布パンツへ変更できた例もある。排泄パターンを把握している。	「水分排泄チェック表」を参考に個々の排泄パターンを把握し、こまめにトイレ誘導につなげている。また、トイレに行きたい素振りを見せた際には、すぐに声をかけトイレ誘導につなげられるよう、日頃から見守を徹底させている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳やヨーグルトを多用している。排便管理はカレンダーでチェックし、3日目に下剤服用の方もいる。ホットパック使用も行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日だけは決めてあるが、タイミング等は、個々に応じ行っている。	少なくとも週2回は入浴してもらいたいと考え、入浴剤を用いたり、ポンタンを湯船に浮かべるなど工夫している。入浴後は保湿クリームを塗布したり、スポーツ飲料やジュースを提供するなど水分補給にも努めて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室で休みたい時に休めるよう支援している。空調や明かりもそれぞれに対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は完全管理し、変更等は申し送りで共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外気浴や野菜収穫行っている。茶碗洗い、台拭き、盆拭き等できることを支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族との外出・外泊、食事、墓参り、買い物等支援している。	初詣や季節毎の花見に出かけたり、長島町で開催された造形展見学に出かけるなど、適度な気分転換と刺激が得られるよう年間行事として企画している。また、同法人のグループホームへ茶話会に出かけたり、中学校の運動会に出かけるなど、会話を楽しむことのできる交流も積極的に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人所持の方もおり、買い物等一緒に出掛ける。家族への報告もやっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>要望があればその都度対応している。事前に内容を把握し、円滑に話ができるよう支援している。現在は手紙を書く方はいない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレは常に点灯し、汚れのチェックも行っている。季節の花や壁掛け等工夫している。</p>	<p>玄関やリビングは明るく開放的であり、天窓付きの畳部屋も備えている。浴室やトイレは広く造られているため、車椅子の方でも動作しやすく、介助しやすい。また、ユニット間は行き来しやすい構造になっているため、調理や入浴を交替で行うなど工夫して行っている。廊下には建物全体を消火できる能力を持つパッケージ型消火設備がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>風除室から外を眺めたり、居間では、話ができる方たちが一緒に座る等の工夫をしている。さりげない見守りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの物の持ち込みをお願いしている。本人や家族と相談しながら、使いやすいよう支援している。</p>	<p>エアコンや洗面台、クローゼット、電動ベッドが備え付けられ、自宅から位牌やテレビ、冷蔵庫を持ち込む利用者もおり、居心地良く過ごせる環境になるよう工夫している。毎朝職員が居室の清掃を行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の場所がわからない方へは、張り紙をしたり、解りやすい物を目印にしたり工夫している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない